

## 別紙

### 中国木材株式会社 郷原工場温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国木材株式会社 郷原工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市郷原町字一ノ松光山10626-2

(3) 業種

一般製材業 (No. 1211)

#### 2 計画の期間

本計画の期間は平成25(2013)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度から平成32年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他温室効果ガス							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスマಿನし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： エネルギー起源CO<sub>2</sub>：製品生産量 (千m<sup>3</sup>)

メタン・一酸化二窒素：バイオマスボイラー蒸発量 (千トン)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成25年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	30.53	28.39 7%	12.43 59.3%	2.63 91.4%	3.98 87.0%		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン	5.93	5.93 0%	7.86 -32.6%	8.33 -40.5%	8.29 -39.9%		
一酸化二窒素	0.69	0.69 0%	0.73 -7.2%	0.78 -13.6%	0.77 -12.7%		
その他温室効果ガス							
温室効果ガス総排出量							
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	10.53	10.21 3%	8.958 14.9%	8.701 17.4%	7.237 31.3%		
実績に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス発電の発電量(自家発電)は前年度と比べ4%増加し、更に他の省エネ活動の効果により原単位は17%削減した</li> <li>・平成28年8月より電力の購入先を中国電力から排出係数が非常に少ないの(株)フレストパワーへ切り替えたためエネルギー起源CO<sub>2</sub>を大幅に削減できている。</li> <li>・メタン・一酸化二窒素は木質バイオマス資源をより多く活用するにつれ大幅なエネルギー起源CO<sub>2</sub>の削減に寄与する反面、メタン・一酸化二窒素がわずかながら増加してしまうためやむを得ない。</li> </ul>						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電力原単位の削減	基準年度比30.6%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力購入先を排出係数の少ない企業へ切り替え</li> <li>・バイオマス発電設備の発電量向上</li> <li>・高性能インバーター機器への更新</li> <li>・高効率照明器具への更新</li> <li>・無駄な電力消費の削減</li> </ul>
2	燃料原単位の削減	基準年度比27.6%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス発電設備の発電量向上によるディーゼル発電稼働率の低下</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	上水道の使用量削減 (郷原工場)	上水使用量を80%以上削減	自然水の有効活用(郷原工場)
2	国産材の有効利用 (全社取組み)	国産材取扱い量 年間1万m <sup>3</sup> 以上(全社合計)	国産材製品の増産
3	FIT認定太陽光発電 設備の新増設 (全社取組み)	温室効果ガス 年間約7,000t-CO <sub>2</sub> 削減 (全社合計)	<p>全社モジュール出力合計 12,267kW</p> <p>2018年度 温室効果ガス削減効果 6,568 t-CO<sub>2</sub></p>
4	FIT認定木質バイオ マス発電設備の新設 (全社取組み)	温室効果ガス 年間約200,000t-CO <sub>2</sub> /年削減 (全社合計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年12月 郷原工場(広島県呉市)にて出力9,990kWの高効率バイオマス発電プラント(2号機)を新設予定</li> </ul> <p>全社出力計65,690kW(合弁会社含む) 《郷原2号新設後は73,690kWとなる(効率の悪い1号機は廃止)》</p> <p>2018年度 温室効果ガス削減効果 207,727 t-CO<sub>2</sub></p>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。